

iTunes による 音楽CDの作成（私的使用）

はじめに 書き込みの出来るCDドライブが必要です

スタート → マイコンピュータ → DVD/CD-RW ドライブ（F）

右クリック → プルダウン → プロパティをクリック、書き込みタグがあればOKです。

iTunes の立ち上げ

1. 「スタート」をクリック
2. 「全てのプログラム」をクリック
3. 「iTunes」を クリック
4. iTunes の表示



iTunes の設定

① データをどこに保管するかの設定 ～Dドライブに保管例～

1. 編集（E）
2. 設定（F）
3. 詳細のタグ
4. [iTunes Media]フォルダーの場所 変更（C）
5. ローカルディスク（D）を選択
6. 新しいフォルダの作成 フォルダ名を 音楽 と変更し OK
7. 詳細のタグで[iTunes Media]フォルダーの場所 に D:¥音楽 と出ている OK

② どのようにデータを取り込むかの設定

1. 編集（E）
2. 設定（F）
3. 一般のタグ
CDをセットしたときの動作（C）右のVをクリック
CDを表示 を選択 （CDをドライブに入れた時に自動的に取り込まないための設定）
インポートの設定（O）をクリック
インポートの方法（I）の 右のVをクリック
mp3エンコーダを選択
設定（S）の 右のVをクリック標準音質（128kbps）を選択
□オーディオCDの・・・ の □に☑をいれて OK
4. 一般のタグのページの一番下のOKをクリック

CDデータの取り込み

1. CDをレコーダーに入れる
2. 右下の「CDをインポート」をクリック
3. インポート中の表示がでて
オレンジのウェーブが出て取り込み中、取り込みが終わると緑色の✓に変わる
(ちょっと時間を要します 60分CDで5分~10分位)
4. CDの取り込みが終わったら
「コントロール (C)」をクリック、プルダウンから「ディスクを取り出す (E)」をクリックしてCDをレコーダーから出す

新規のプレイリストの作成

1. 左下の「+」(プレイリストの作成)をクリック
無題のプレイリストが出来る
2. CDアルバムのタイトルを記入
3. 「ミュージック」に取り込まれたCDアルバムを表示
4. プレイリストに乗せる曲を選択
5. 選択されたCDアルバムを「プレイリスト」にドラッグ&ドロップ
6. プレイリストの完成

CDの作成

1. CDを作成する「プレイリスト」を選択
2. CDにする曲の前にある□に☑を入れる
3. 空のCDをレコーダーに入れる
4. 右下の「ディスクの作成」をクリック (曲の前のチェックが入っているのみ録音される)
5. ディスクの作成設定が表示
「推奨速度」 最大に設定
「デスクフォーマット」「○オーディオCD (U)」の○に ●をつける (選択する)
「曲の間隔 (G)」は2秒に
「サウンドチェックを使う (C)」□に☑を入れる
6. 右下の「ディスクを作成」をクリック
7. CDに転送開始 (ちょっと時間を要します 60分CDで5~10分くらい)
8. 作成が終わったら
「コントロール (C)」をクリック、プルダウンから「ディスクを取り出す (E)」をクリックしてCDをレコーダーから出す

完成

My 音楽CDの作成

取り込んだAアルバムから2曲、Bアルバムから4曲のCDを作る場合。

1. プレイリストの作成、左下の「+」をクリックすると上に「無題のプレイリスト」が出来る。
2. 「無題のプレイリスト」に題名を記入「お気に入り」とか
3. Aアルバムから2曲、Bアルバムから4曲、題名を記入したプレイリストにドラッグ
4. 曲の前にある□に☑をいれて
5. 右下の「ディスクの作成」をクリック
6. ディスクの作成設定が出る。
推奨速度 (S) : 最大に
ディスクフォーマット : ○オーディオCD (U) の○に をつける (選択する)
(yu チューブをCDに保存する時は、○データCD (C) の○に をつける)
曲の間隔 (G) を、2秒に
サウンドチェックを使う (C) □に☑をいれる
7. 右下の「ディスクの作成」をクリック
8. CDに転送開始 (チョット時間を要します 60分CDで5~10分くらい)
9. 作成が終わったら
「コントロール (C)」をクリック、プルダウンから「ディスクを取り出す (E)」をクリックしてCDをレコーダーから出す

完成

取り込まれたデータの変換

mp3からWAVに (後述の Sound Engine Free ではWAVバージョンを使います。)

1. 編集 (E)
2. 設定 (F)
3. 一般のタグ
CDをセットしたときの動作 (C) 右のVをクリック
CDを表示 を選択 (CDをドライブに入れた時に自動的に取り込まないための設定)
インポートの設定 (O) をクリック
インポートの方法 (I) の 右のVをクリック
WAVエンコーダを選択
設定 (S) の 右のVをクリック 自動 を選択
 オーディオCDの の □に☑をいれて OK
4. 一般のタグのページの一番下のOKをクリック
5. ミュジックのところにある変換する曲の上で右クリック
6. プルダウンから 「WAVバージョンを作成 (V)」をクリック
7. 変換する曲の下にWAVバージョンされた曲が作られました。

レコード、カセットテープなどの曲をデジタル化する (CDに作り替えることも出来る)

大事なレコードやカセットテープの曲をパソコンに取り込みます。

カセットデッキやレコードプレイヤーとパソコンをつなぐオーディオケーブルが必要です。

今回は無料で使えるフリーソフト

サイクル・オブ・フィフス(札幌市)の「Sound Engine Free」を使います。

最初にデスクトップに「download」のホルダを作る

「Sound Engine Free」をダウンロードします。

- ① Sound Engine Free と検索
- ② 窓の杜—Sound Engine をクリック
- ③ DOWNLOAD 2.92MB をクリック
- ④ インストールが始まらない場合は Sound Engine Free 4 4 1. Exe をクリック
- ⑤ 最初に作った「download」のホルダに保存する
- ⑥ 「download」に保存された Sound Engine Free 4 4 1. Exe を展開します。
- ⑦ デスクトップに Sound Engine Free のショートカットが出来ていれば成功です。



Sound Engine Free 4 4 1. Exe で音楽を取り込む。

「Sound Engine Free」はWAVファイル形式で取り込みます。

長時間ではパソコンに負担をかけるのでハードデスクに余裕がなければ注意が必要です。

- ① Sound Engine Free を開きます
- ② 録音レベルの調整
録音タブをクリックして録音ボタンを押しこまれた状態にする。
- ③ カセットデッキ側で再生を始めるとレベルメーターが動きます。
レベルメーターの赤い部分に入り上の数値が「0.0」と表示続けた状態では音が高すぎ音のゆがみが発生します。
録音音量調整ノブで調整する
- ④ 進行ボタンで録音開始
- ⑤ 終了したら停止ボタンを押して
- ⑥ 名前を付けて保存する

デスクトップに「おんがく」ホルダを作っておけば使いやすい。

すでにデジタル化された音楽がホルダの中にありますので普通のファイルと同様に移動保存が可能です。

このファイルを使って iTunes でCDを作ることも出来ます。

その他

Real Player SP (無料ソフト)

今流行りの **yu チューブ** (「YouTube-ようこそ、YouTube Japan」で検索) のお気に入りをパソコンにダウンロードしたり、iTunes に転送して CD にしたり、iPod に転送して持ち歩ける。

「Real Player SP」をダウンロードします。

- ① 「RealPlayer SP」と検索
- ② jp.real.com/downloadRP/download1.html をクリック (無料でない物もあるのでご注意)
- ③ ダウンロード (無料) をクリック
- ④ ダウンロード手順
- ⑤ 1. ダウンロード (無料) をクリック
- ⑥ 「ファイルのダウンロードセキュリティの警告」の表示保存をクリック
- ⑦ 最初に作った「download」のホルダに保存する
- ⑧ 「download」に保存された「RealPlayerSPGold_ja」を展開します。
- ⑨ デスクトップに「Real Player SP」のショートカットが出来ていれば成功です。



yu チューブの取り込みと Real Player の利用

1. yu チューブの動画画面右上に「このビデオをダウンロード」をクリック
2. Real Player に取り込みが始まります
3. Real Player を開きます
4. マイライブラリを選択
5. ビデオを選択
6. 取り込んだビデオをクリック

iTunes に転送の時は左側下のコピー先の▼をクリック Apple iPhone⇒Apple ipod を選択する。転送後 iTunes に MPEG-4 ビデオファイルとして取り込まれます。iTunes でプレイリスト作成後、デスクの作成→ディスクの作成設定からオーディオ CD でもデータ CD & DVD でも作れます。

音楽ファイル .mp3 & .WAV について

音楽 CD に記録された信号容量は 20 曲のアルバムで、約 600 MB あります。

写真のファイルに置き換えると、おおよそ 600 枚分です。

原音に近いままパソコンに保存したいと考えて、WAV ファイル形式でパソコンに取り込むとほぼ同じ信号容量が必要です。ハードデスクに余裕がなければ、信号の一部をカットしてファイルを圧縮して記録します。この圧縮した音楽のファイル形式の一つに .mp3 があります。約 10 分の 1 になります。音楽 CD を .mp3 で取り込みますと、約 60 MB になり、写真 60 枚分になります。

しかし、いったん .mp3 に圧縮してしまうと元の信号に戻してもカットされた信号は復元しません、カットされた信号は人間の耳で聞こえないとされる信号域といわれています、今回は音楽 CD を .mp3 で取り込んでいます。パソコンに負担を掛けないためです。

ハードデスクに余裕があれば、WAV ファイル形式で取り込みます。－参考－

CDの種類

- CD-ROM (Compact Disk Read Only) アルミニウム製の薄膜にへこみを付ける、読み取りのみ
- CD-R (Compact Disk Recordable) 金属薄膜に有機色素を塗布、一回だけ書き込み出来る
- CD-RW (Compact Disk Rewriteable) 金属で記録膜を作る、データ書き換え可能
- 音楽用CD 私的録音管理協会 (SARA サーラ) カタログ価格 * 50% * 3%を加算性能に差はない

CDの取り扱い

記録面、表面に傷をつけないよう (表面にボールペン等固いもので書かない)
保管は高温、直射日光を避ける、CD-Rは記録膜が有機色素のため特に注意

音楽使用規格 (ファイル形式) 例

- CD-DA (Compact Digital Audio) 音楽CDに書き込まれている形式、拡張子 cda
- WAVE (波) Windows 標準の音声ファイル形式で音声をデジタル形式に変換したもの (非圧縮)
- MP3 (MPEG-1 Audio Layer 3) 元データを10分の1位に圧縮
- WMA (Windows-Media Audio) Microsoft が開発した音声圧縮方式、ほぼMP3に同じ
- ATRAC3 ソニーが開発した音声圧縮方式、ほぼMP3に同じ
- AIFF Mac 標準音声ファイル、WAVEにおなじ
- AAC iTunes 用音声圧縮方式

参考文献

Asahi.com (朝日新聞社) 藤本健のオーディオステーション 2008.06.20 による